

勢いのまま

馬場 叶羽

25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
雪解の地図と壊れたビスケット 谷のなか春泥いくつもが乾く 春園に絶頂ふたつ遠く街 白子食うてアバンギャルドが泡を吹く でゅしやんぱつかん ジーすぽつとは都市の塔 怒涛 問われて蝶の色なかりけり 猫の子猫の子地球に蓋をしてまわる 花杏耳のくずるところを触る 竹の秋なり太陽のほうに墓 太陽に少年見たり麦の秋 春空の初夏ならテディベアが泣いた 鼻つ面言うんよ初夏の塔のこと 美味そうやあらへんアレは闘牛や 論争になめくじの身を反らしけり 脱力のキヤベツ抱えて夏にいる ご覧がらんと青梅が落ちそうだ みんな胎のなかに草いきれがにおう 夏蝶やロツクンロール虹を踏む 脊椎のメトポリスや夏の雨 損切りとして鼻先が滝になる 逢引きのつぎつぎ見え隠れ涼し 降りみ降らずみ逢坂を夏の大 グラフィティーアート地蔵の灼かれおり 尾根筋にひと住まいたり夏化粧	勢いのままフロリダへ猫の恋 肉魚並べて人の暑さかな 轟音に遅れて蜈蚣出にけり 蟹の足積みあぐ爪の気ままかな 轟笑の一点を見し暑さかな 乗降の船より遠くなる西日 寺に来て竿にとまるや時鳥 病人がひろびろ寝たり夏座敷 夏風邪のCatastrophe Kissかな 熱帶魚HOLICそり立ちにけり 秋蝶のおそらくラカン帰りなさい たましいのかたち鷄頭ならば燃ゆ こんな大花野が我が息子なのだろう 足裏の空洞みゆる橋の秋 生桃はゆうれいが食う森に橋 人形に授乳服あり石蕗の花 弔いのナイチングール月か霜か 闇鍋の闇より出でし頭かな わたくしは革命を待ち寒卵 真夜中を面白くする寒さかな ひたすらに眠たき山を登りつつ																							

50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26
緑陰を吸つてためいき流行歌 夏の夜の闇の仏足石が座し カタコンベなら蜗牛彷徨す 肉魚並べて人の暑さかな 轟音に遅れて蜈蚣出にけり 蟹の足積みあぐ爪の気ままかな 轟笑の一点を見し暑さかな 乗降の船より遠くなる西日 寺に来て竿にとまるや時鳥 病人がひろびろ寝たり夏座敷 夏風邪のCatastrophe Kissかな 熱帶魚HOLICそり立ちにけり 秋蝶のおそらくラカン帰りなさい たましいのかたち鷄頭ならば燃ゆ こんな大花野が我が息子なのだろう 足裏の空洞みゆる橋の秋 生桃はゆうれいが食う森に橋 人形に授乳服あり石蕗の花 弔いのナイチングール月か霜か 闇鍋の闇より出でし頭かな わたくしは革命を待ち寒卵 真夜中を面白くする寒さかな ひたすらに眠たき山を登りつつ	勢いのままフロリダへ猫の恋 肉魚並べて人の暑さかな 轟音に遅れて蜈蚣出にけり 蟹の足積みあぐ爪の気ままかな 轟笑の一点を見し暑さかな 乗降の船より遠くなる西日 寺に来て竿にとまるや時鳥 病人がひろびろ寝たり夏座敷 夏風邪のCatastrophe Kissかな 熱帶魚HOLICそり立ちにけり 秋蝶のおそらくラカン帰りなさい たましいのかたち鷄頭ならば燃ゆ こんな大花野が我が息子なのだろう 足裏の空洞みゆる橋の秋 生桃はゆうれいが食う森に橋 人形に授乳服あり石蕗の花 弔いのナイチングール月か霜か 闇鍋の闇より出でし頭かな わたくしは革命を待ち寒卵 真夜中を面白くする寒さかな ひたすらに眠たき山を登りつつ																							